

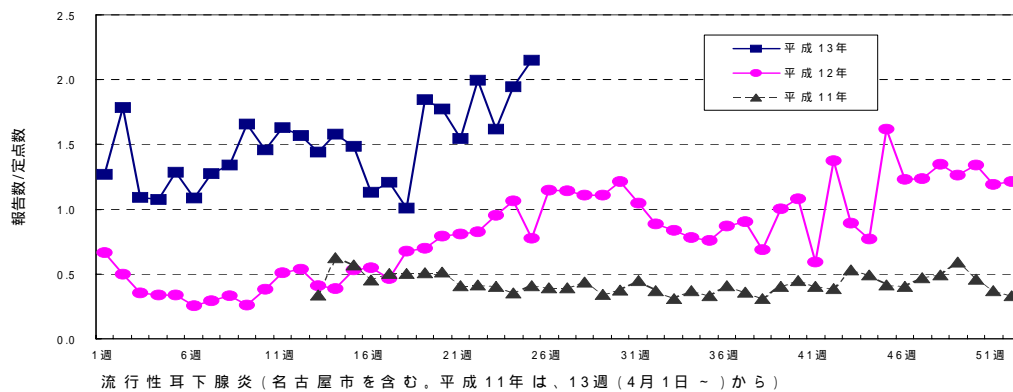
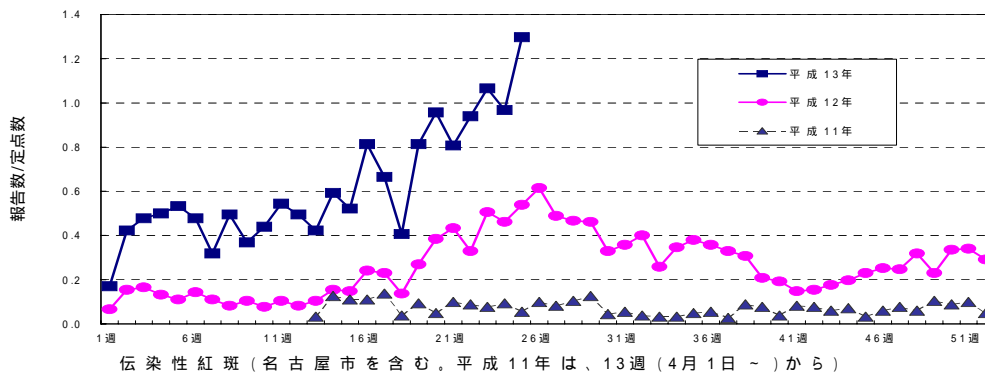
愛知県感染症情報

平成 13 年第 25 週（6 月第 3 週）

（コメント）

手足口病、ヘルパンギーナは流行中です。

伝染性紅斑、咽頭結膜熱、流行性耳下腺炎は、依然昨年より多い状況が続いていますので注意してください。



（定点の先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ・ 手足口病、伝染性紅斑増えています。アデノ様発熱散発。
（岩倉市 なかよしこどもクリニック）
- ・ ヘルパンギーナ、手足口病が増加してきました。
（江南市 みやぐちこどもクリニック）
- ・ サルモネラ 61 歳女
（師勝町 師勝クリニック）
- ・ 7 歳女 カンピロバクター（+）と病原性大腸菌 0119（+）でした。
（春日町 丹羽医院）

- 尾張東部地区

- ・ 流行性耳下腺炎、伝染性紅斑が学童で多くみられます。流行性耳下腺炎 11 名中、ワクチン接種済み 2 名（13 歳男 MMR、6 歳男ムンプスワクチン）ありました。
（瀬戸市 津田こどもクリニック）
- ・ 今週はヘルパンギーナ、伝染性紅斑が目立ちました。アデノウイルス感染症と思われる症例も多くみられました（結膜炎、下痢を伴う症例もあり）。流行性耳下腺炎少し落ち着いたようです。
（尾張旭市 佐伯小児科医院）
- ・ 病原性大腸菌 O6 感染症 1 名。
（豊明市 豊明団地診療所）
- ・ 今週は咽頭結膜熱もまだみられました。ヘルパンギーナも流行し始めた様です。
（春日井市 かちがわ北病院）
- ・ 流行性耳下腺炎と伝染性紅斑 3 歳男
（東海市 小児科ハヤカワ医院）

- 西三河地区

- ・ 病原性大腸菌 O111 2 歳女
マイコプラズマ感染症 7 歳男
（豊田市 星ヶ丘田中こどもクリニック）
- ・ 水痘、ムンプス 小流行
（豊田市 やふそ小児科）
- ・ 病原性大腸菌 O1 VT(-) 4 歳女、流行性角結膜炎 1 歳男
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ 4 歳男病原性大腸菌 O25 VT1・2(-)
10 歳男ムンプス (MMR-106) H4.10.8 接種
6 歳男ムンプスワクチン (H502) H9. 接種 (10 歳、6 歳は兄弟)
5 歳女ムンプスワクチン (H505) 接種
（岡崎市 スズキ医院）
- ・ ヘルパンギーナ時々あり。生後 1 ヶ月男児 SSSS (ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群)
（碧南市 永井小児クリニック）
- ・ 手足口病、ヘルパンギーナ、伝染性膿痂疹、ふえてきました。
（知立市 宮谷こどもクリニック）
- ・ ヘルパンギーナが目立ちました。
（西尾市 山岸クリニック）

- ・ 咽頭結膜熱増加、下痢を伴う例が多い。
(西尾市 やすい小児科)
- ・ マイコプラズマ肺炎(6歳男、10歳男と女)
(三好町 三好町立三好病院)
- 東三河地区
 - ・ ヘルパンギーナが増えています。保育園で、流行性耳下腺炎流行中。
(豊橋市 こどもの国大谷小児科)
 - ・ 3～5日間つづく高熱児あり。入院例・肺炎例もあり。
(田原町 かわせ小児科)
 - ・ MCLS 6歳女
(蒲郡市 蒲郡市民病院)

(1～3類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌保有者3名

- ・ 西尾保健所から報告の32歳女。6/12初診、6/16診定。菌型は、
0157 VT1・2(+)
- ・ 西尾保健所から報告の87歳女。6/13初診、6/16診定。菌型は、
0157 VT1・2(+)
- ・ 豊橋市保健所から報告の34歳女。6/10初診、6/20診定。菌型は、
0157 VT1・2(+)

腸管出血性大腸菌感染症患者2名

- ・ 豊橋市保健所から報告の8歳女。6/15発病、6/17初診、6/21診定。
菌型は、0157 VT1・2(+)
- ・ 瀬戸保健所から報告の43歳男。6/16発病、6/19初診、6/21診定。
菌型は、0157 VT1・2(+)

(全数把握の4類感染症の発生状況)

アメーバ赤痢患者1名。

第23週(6月4日～6月10日)の4類感染症の全国状況

麻疹は過去5年間の同時期と比較して定点当たり報告数が多い状態が続いており、都道府県別では沖縄県1.4、宮崎県1.3などの報告がある(詳細は4ページ「注目すべき感染症」参照)。流

行性耳下腺炎は、最近10年間の当該週と比較して最大の定点当たり報告数が続いており、福井県7.0、福岡県4.3、佐賀県4.2などの報告がある。咽頭結膜熱は、最近10年間の当該週と比較して最大の定点当たり報告数が2000年第41週から続いており、夏の本格的なシーズンに向けて増加中である。都道府県別では滋賀県0.9、山口県0.8、愛知県0.6などの報告がある。伝染性紅斑、流行性角結膜炎などの定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比較してやや多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)